
もしヘンゼルとグレーテルがネズミと紫苑だったら

小南冬知亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もしヘンゼルとグレーテルがネズミと紫苑だったら

【Nコード】

N1287Z

【作者名】

小南冬知亜

【あらすじ】

NO.6の童話パロです

内容は・・・題名の通り。

ヘンゼルとグレーテル、ver.ネズミ&紫苑です(^ | ^)

原作知らなくても読めるとは思いますが、つまらないです
読んでても、なんだこれ？って思うかもです

つたないとは思いますが……………読んで頂けると幸いです

では、扉を開けましょう
ようこそ、ヴァイジョン幻想へ

プロローグ(ようこそ、幻想)ヴィジョン(へ) (前書き)

このお話を開いて頂きありがとうございます。

さて、このお話はNO.6のキャラがもし童話世界の住人だったら、
というもので、原作とは異なった世界であることをご了承さ
い。

ですから、聖都市も存在しませんし、西ブロックもありません。
ご注意ください。

では、本編へ……

プロローグ／ようこそ、幻想（ヴィジョン）へ

あら？眠れないのですか？

だったらいいお話があります。

ヘンゼルとグレーテルって読んだことありますか？

そうです。グリム童話のです。

では、NO.6は？

はい。あさのあつこ先生がつくられたあのお話です。

あ、ありますか。

ならばよかった。

ではお話ししましょう。

『もしヘンゼルとグレーテルがネズミと紫苑だったら』を。

えっ、どんなお話かって？

そうですね、私が聞いた、もう一つのヘンゼルとグレーテル、ネズミと紫苑のお話……ですかね

はい？あ、題名のまんまですよ。

だって、今話したらつまらなくなってしまつてしまうでしょ？

ではじめましょうか。

プログラグくようこそ、幻想（ヴィジョン）へく（後書き）

ご覧頂きありがとうございます。

投稿に少し時間がかかるかと思えます。
でも、見放さずについてやって下さい。

第一話〜神だつてとんでもない失敗をしでかす〜（前書き）

序章と言つには短いです。

お話の設定しか語っていません。

タイトルの「神だつてとんでもない失敗をしでかす」はあさの先生の「神々の午睡」のグドミアノのセリフから頂きました。

ちなみに前回のプロローグ〜ようこそ、^{ヴァイジョン}幻想へ〜は（ご存知の通り）ネズミのセリフから頂戴しました。

短いですが、どうぞ……

第一話　神だつてとんでもない失敗をしでかす

あるパン屋が大きな大きな森の近くにありました。

そのパン屋は女性の人が一人できりもりしていました。

「ありがとうございました」

今日も女性――火藍は元気に応対をしていました。

でも、お客さんは多くても一日五人。

誰も来ない日もありました。

それでも彼女が元気な理由。

それは、二人の我が子の存在でした。

一人はネズミ。

とても頭がきれ、ナイフの扱いに長けている一方で、心優しい少年です。また、歌がとても上手で、それは森のたくさんの動物も、木も、花も、みんなが聴き惚れるほどでした。

もう一人は紫苑。

天然だけれど、記憶力に優れており、芯が強い少年です。困っている人を見過ごすことができない優しさを持っていて、近くの子供たちは彼のことを好いていました。

二人はとても仲がよく、いつも一緒にいました。

おつかいに行く時も、森へ遊びに行く時も、母親の火藍の手伝いをする時も。

彼らの父親は彼らが生まれてすぐに死んでしまいました。

今は叔父が父親がわりをしていて、名を力河といいました。

彼は小さな新聞社で新聞を作っていました。

さて、このパン屋のそばでは不思議な病気が流行っておりまして、それはある時突然現れました。

その病気にかかった者はとても乱暴になり、悪い方へ、悪い方へと物事を考えてしまい、仕事に手がつかなくなるほどでした。

実はこの病気、天の神様が関係しておりました。

神様が人々に悪いからといって捕まえていた、ミン虫という名の小さな虫が逃げ出してしまったのです。

逃げ出したミン虫は、人々の耳の中に入り、その人の負の感情、マイナスの感情を増幅させました。

それがこの病気なのです。

天の神様は大慌てでミン虫を捕まえました、ミン虫がたくさんいたために間に合っていないのです。

第一話〜神だつてとんでもない失敗をしでかす〜（後書き）

ありがとうございます。

まだまだお話は始まったばかり。

だって、森に行ってもいなければ、お菓子の家にも行ってないですよ？

さて、童話らしさがだせたでしょうか？

これからが本番です。

遅くなりそうですが、よろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1287z/>

もしヘンゼルとグレーテルがネズミと紫苑だったら

2011年12月4日22時56分発行